

公益社団法人日本地震工学会 第44回理事会議事録

A.日時：2020年3月24日（火） 16時00分～19時00分

B.場所：建築会館 301+302 会議室

C.出席者：（会長）中埜良昭，（副会長）鳥井信吾，山田 哲，秋山充良

（担当理事）中村洋光，徳光亮一，山本雅史，入江さやか，久保智弘，永野正行，清田隆，小檜山雅之，五十嵐晃，目黒公郎，宮腰淳一，丸山喜久

（監事）久田嘉章，三輪 滋

欠席：（担当理事）松岡太一

オブザーバ出席：小松康典事務局長，戸田薫子事務局員

D.議題および提出資料：

報告事項

- | | |
|---------------------------------|----------|
| 1) 第43回理事会議事録（案）の確認（徳光理事） | 資料 44-01 |
| 2) 総務・会計部会、第17回拡大正副会長会議報告（徳光理事） | 資料 44-02 |
| 3) 会務報告（中村理事） | 資料 44-03 |
| 4) 広報部会からの報告（入江理事） | 資料 44-04 |
| 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（久保理事） | 資料 44-05 |
| 6) 会誌編集委員会からの報告（永野理事） | 資料 44-06 |
| 7) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（清田理事） | 資料 44-07 |
| 8) 論文集編集委員会からの報告（小檜山理事） | 資料 44-08 |
| 9) 事業企画委員会（企画）からの報告（宮腰理事） | 資料 44-09 |
| 10) 17WCEE 運営委員会からの報告（目黒理事） | (資料なし) |
| 11) 第24回震災対策技術展横浜ブース展示報告（中村理事） | 資料 44-11 |
| 12) メール審議（2件）結果報告（中村理事） | 資料 44-12 |

議案

- | | |
|----------------------------|----------|
| 第1号 入退会者・会費未納入者（山本理事、徳光理事） | 資料 44-13 |
| 第2号 共催・後援・協賛等（徳光理事） | 資料 44-14 |
| 第3号 令和2年度事業計画（案）（徳光理事） | 資料 44-15 |
| 第4号 令和2年度収支予算書（案）（山本理事） | 資料 44-16 |
| 第5号 今年度の表彰について | |
| (5-1) 功績賞（中村理事） | 資料 44-17 |
| (5-2) 功労賞（中村理事） | 資料 44-18 |
| (5-3) 論文賞（秋山副会長） | 資料 44-19 |
| (5-4) 論文奨励賞（小檜山理事） | 資料 44-20 |
| 第6号 新規研究委員会について（秋山副会長） | 資料 44-21 |

懇談事項

- | | |
|------------------------|----------|
| 1) JAEE20周年記念事業（秋山副会長） | 資料 44-22 |
| 2) 2020年度大会（山田副会長） | (資料なし) |

- | | |
|----------------------------|----------|
| 3) 令和元年度事業報告（案）について（中村理事） | 資料 44-24 |
| 4) 新理事の候補者について（中村理事） | 資料 44-25 |
| 5) 今後の予定について（中村理事） | 資料 44-26 |
| 6) 理論応用力学コンソーシアムについて（宮腰理事） | 資料 44-27 |

E.議事録：

報告事項

- 1) 第 43 回理事会議事録（案）確認（徳光理事）
 - ・ 徳光理事より資料 44-01 に基づいて第 43 回理事会議事録（案）の説明が行われ、異議なく承認された。
- 2) 総務・会計部会、第 17 回拡大正副会長会議報告（徳光理事）
 - ・ 徳光理事より資料 44-02 に基づいて総務・会計部会および第 17 回拡大正副会長会議について報告がなされた。
- 3) 会務報告（中村理事）
 - ・ 中村理事より資料 44-03 に基づいて会務報告の説明がなされた。
- 4) 広報部会からの報告（入江理事）
 - ・ 入江理事より資料 44-04 に基づいて広報部会の活動および広報マニュアル（案）について説明がなされた。
 - ・ 広報マニュアルの記載内容を後任の広報担当理事および各理事に引き継ぐように指示があった。またマニュアルは時代の流れに応じて適宜改訂していくこととした。
- 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（久保理事）
 - ・ 久保理事より資料 44-05 に基づいて、JAEЕ News、JAEЕ Newsletter の発行状況、ウェブサイトのメンテナンス、今後の活動予定等について説明がなされた。
 - ・ 刊行物のアーカイブ化の進捗状況について説明がなされた。研究委員会関連の資料で入手できていないもの（2 編）およびシンポジウム関連の資料で入手できていないもの（1 編）が存在することが報告され、当該の資料を所持している理事は IC 委員会に連絡することとした。
 - ・ 過去の地震工学シンポジウムの論文集もアーカイブ化の対象としてほしいとの要望があり、検討することとした。
- 6) 会誌編集委員会からの報告（永野理事）
 - ・ 永野理事より資料 44-06 に基づいて、会誌第 39 号の発刊および第 40 号に掲載予定の記事（「17WCEE 開催に向けて」等）について説明が行われた。
 - ・ 第 40 号については、17WCEE の日程が見直された場合を想定し、記事の修正、差し替え等の対応を検討する必要はないかとの質問が出された。これに対し、何らかの見直しが入った場合には、会長の巻頭言等で説明するとともに、掲載予定の記事についても 17WCEE の動向に応じた記述・構成に対応できるようにし、現時点では現状の方針で編集を進める予定であるとの回答があった。同時に、開催方針の見直しがあった場合には、永野理事までお知らせいただきたい旨の依頼があった。
- 7) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（清田理事）
 - ・ 清田理事より資料 44-07 に基づいて、地震災害対応委員会よりトルコ東部の地震の情報収集依頼に関するメール配信したことが紹介された。また国際委員会よりニュースレターの英文記事の作成を留学生会員に依頼し原稿を受領したこと、「日露青年交流センター」からの依頼で、ロシア人研究者招聘プログラムへの応募者選考において、地震動関連の応募案に対する専門評価員として田尻清太郎先生を手配したことが紹介された。

- ・ 本会は地震調査のための費用を援助しており、特に若手研究者にとっては（本会員であること）のメリットであることが紹介された。
- ・ 今後もニューズレターの英文記事の配信を継続していくためには、記事を投稿していただく留学生の会員を増やす必要があるとの意見が出された。

8) 論文集編集委員会からの報告（小檜山理事）

- ・ 小檜山理事より資料 44-08 に基づいて、論文テンプレートの更新作業、倫理規程および関連規定の英訳作業の状況、論文集の発行状況、査読状況、今後の発刊予定等について報告された。
- ・ 本会論文集に掲載された不正行為の疑いのあるノートについて、著者から取下げ申請があったこと、理事会にて掲載撤回を承認したこと、2/28 刊行の本会論文集にて当該ノートを撤回する文書に掲載したことが報告された。
- ・ 規程類の英訳版については、各理事が内容を確認し、コメントがあれば論文集編集委員会に連絡し、次回理事会においてこれらのコメントを反映した規程類を報告することとした。
- ・ 2/28 刊行の論文集のうち、ノートの撤回文書については閲覧規制を解除すべきではないかとの意見が出され、ノート撤回文書のみ規制を解除することが技術的に可能であるか確認することとした。

9) 事業企画委員会（企画）からの報告（宮腰理事）

- ・ 宮腰理事より資料 44-09 に基づいて、E-ディフェンス見学会および震災予防講演会を開催内容および収支について報告された。また社員総会の特別講演会の講演者を検討中であることが報告された。

10) 17WCEE 運営委員会からの報告（目黒理事）

- ・ 目黒理事より 17WCEE の準備状況について報告され、当初の予定どおりに会議を開催することを前提に準備を進めていることが紹介された。また、政府の要請で万一延期等となった場合の対応についても検討していることが紹介された。

11) 第 24 回震災対策技術展横浜ブース展示報告（中村理事）

- ・ 中村理事より資料 44-11 に基づいて、第 24 回震災対策技術展横浜ブース展示について紹介があり、新規会員の獲得等の成果があったことについて報告がなされた。

12) メール審議（2 件）結果報告（中村理事）

- ・ 中村理事より資料 44-12 に基づいて、本会論文集に掲載のノートの掲載撤回の承認および撤回の方法、原子力学会主催シンポジウム「東京電力福島第一原子力発電所の廃炉 原子力を見る－社会の目」の協賛について、メール審議の結果、両案件とも承認されたことが報告された。

議案

第 1 号 入退会者（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 42-13 に基づいて、入退会者の報告がなされた。入会者として正会員 11 名、法人会員 2 法人について異議なく承認された。また退会者として正会員 25 名、学生会員 8 名について異議なく承認された。また復活者として正会員 2 名、学生会員から正会員への転格者 1 名、ご逝去者 2 名について報告がなされた。
- ・ 会員収入の増減を定期的に注視することを目的に、次回以降の理事会では、近年の会員数の推移を整理した資料を追加することとした。

第 2 号 共催・後援・協賛等（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 44-14 に基づき、後援 3 件、協賛 1 件の名義使用依頼が報告され、異議なく承認された。

第 3 号 令和 2 年度事業計画（案）（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 44-15 に基づき、令和 2 年度事業計画（案）について紹介された。
- ・ 新規研究委員会の名称および計画の文章については、研究統括委員会による修正案を記載することを条件に、本計画案は承認された。
- ・ 「4. 文献・資料の収集および活用」の項目に、アーカイブ情報の活用方法について記載した方が良いのではないかと意見が出され、アーカイブ情報を順次公開する旨の記述を追加することとした。

第 4 号 令和 2 年度収支予算（案）（山本理事）

- ・ 山本理事より資料 44-16 に基づいて、2019 年度収支見込みおよび 2020 年度予算案、収支相償資料について紹介され、異議なく承認された。

第 5 号 今年度の表彰について

(5-1) 功績賞（中村理事）

- ・ 中村理事より資料 44-17 に基づき、安田進先生（推薦者：清田理事）および翠川三郎先生（推薦者：山田副会長）を推薦する旨説明があり、異議なく功績賞を授与することを内定した。
- ・ 安田進先生の推薦文に記載された参考文献の番号が誤っているとの指摘があり、当該箇所を修正することとした。

(5-2) 功労賞（中村理事）

- ・ 中村理事より資料 44-18 に基づき、佐藤吉之氏（推薦者：鳥井副会長）を推薦する旨説明があり、異議なく功労賞を授与することを内定した。

(5-3) 論文賞（秋山副会長）

- ・ 秋山副会長より資料 44-19 に基づき、「1945 年三河地震（M6.8）の震度分布：発生直後に行われたアンケート調査資料の再検討」（原田智也氏・佐竹健治氏・古村孝志氏・室谷智子氏）と「2011 年東北地方太平洋沖震の津波断層モデルの再検討－津波関連観測データをフル活用した推定－」（根本信氏・横田崇氏・高瀬嗣郎氏・今村文彦氏）を推薦する旨説明があり、異議なく論文賞を授与することを内定した。
- ・ 論文賞選考委員会の 2 次選考はこれまで机上で開催してきたが、採点方式の審査であることから、メール審議でも対応できるのではないかと意見が出された。これに対し、採点結果のみでは結論を出しきれないケースも考えられることから、机上での議論も大切にほしいとの意見が出された。また、近年はテレビ会議システムの活用が主流になりつつあるとの意見も出された。今後の 2 次選考の開催方式については、これらの意見を踏まえ、慎重に検討することとした。

(5-4) 論文奨励賞（小檜山理事）

- ・ 小檜山理事より資料 44-20 に基づき、松本俊明氏（論文：分散型電源のある配電網の地震時レジリエンス評価方法に関する研究）と小穴温子氏（論文：2016 年熊本地震を対象とした震源断層近傍における強震動評価手法に関する検討）を推薦する旨説明があり、異議なく論文奨励賞を授与することを内定した。

第 6 号 新規研究委員会について

- ・ 秋山副会長より資料 44-21 に基づいて、新規研究委員会として「津波避難に対する工学的検討手法活用の環境整備に関する研究」（委員長：甲斐芳郎先生、設置期間：2020 年 4 月～2022 年 3 月）について紹介された。
- ・ 「研究内容」の説明文章でやや不明瞭な点があることが指摘されたことから、研究統括委員会で修正案をとりまとめ、中榎会長が修正案を確認することを条件に、上記研究委員会を立ち上げることが承認された。

懇談事項

1) JAEE20 周年記念事業（秋山副会長、丸山理事）

- ・ 秋山副会長より JAEE20 周年記念事業のうち、記念誌の計画について説明がなされ、次年度より作成を開始予定であることが報告された。
- ・ 丸山理事より資料 44-22 に基づいて、JAEE20 周年記念行事の進め方について説明された。記念行事の開催日は、現時点で建築会館の大ホールの使用許可を得ている 2021 年 5 月 13 日または今後の抽選結果により 2021 年 5 月下旬（事務手続きを踏まえると、5 月下旬の開催が望ましい）であり、4 月中に確定予定であることが紹介された。

2) 2020 年度大会について（山田副会長）

- ・ 山田副会長より 2020 年度大会について説明がなされた。
- ・ 大会の開催日は 12/3～4 とし、会場は東大生産技術研究所を予定していることが紹介された。また、開催日（予定）、開催場所（予定）については公開しても問題ないことが確認された。なお、12/4 は建築学会で振動運営シンポジウムが予定されていることから、大会のプログラムの編成に配慮した方が良いとの意見が出された。
- ・ 今年度の大会実行委員長は次期大会担当理事であり、その他の実行委員の人選も次期大会担当理事の責任で行うことが説明された。

3) 令和元年度事業報告（案）について（中村理事）

- ・ 中村理事より資料 44-24 に基づいて、令和元年度事業報告（案）について紹介された。
- ・ 本報告案については、各理事が次回理事会までに内容を確認し、次回理事会にて審議、議決することが確認された。

4) 新理事の候補者について（中村理事）

- ・ 中村理事より資料 44-25 に基づいて、次期理事会の体制について説明がなされ、承認された。
- ・ 次期理事会の開催日程を決定したことから、総務より次期理事会の関係者に開催日を周知することとした。

5) 今後の予定について（中村理事）

- ・ 中村理事より資料 44-26 に基づいて、今後の予定として以下の説明および指示がなされた。
 - 令和 2 年度事業計画および予算の修正コメント等を 3/26 までに総務理事、事務局に連絡する。
 - 令和元年度事業報告および決算を次回理事会にて審議、議決する。
 - 部会・委員会の引継ぎを行うこと（4 月下旬に総務から依頼メールを配信予定）。
 - 社員総会のシナリオおよび役割分担を次回理事会にて確認する。

6) 理論応用力学コンソーシアムについて（宮腰理事）

- ・ 宮腰理事より資料 44-27 に基づいて、日本工学会 理論応用力学コンソーシアムから本会に、コンソーシアムのメンバー（正員）として参加依頼を受けていることについて説明がなされた。
- ・ 上記参加依頼に対し、「日本の理論応用力学分野での存在感が低下していることから、積極的に参加すべき」「本会の事業規模を踏まえると、メンバー（正員）として参加するのは負荷が大き過ぎるのではないか」等の意見が出された。
- ・ メンバー（正員）以外の関与のしかたについても調査し、次回理事会にて審議することとした。また、理論応用力学は本会にとって馴染みの薄い分野であることから、理論応用力学について会員に周知することが重要であるとの意見が出された。

次回予定：第 45 回理事会 4 月 20 日（月）16 時～19 時

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和2年 3月 26日

議長 中 埜 良 昭

監事 久 田 嘉 章

監事 三 輪 滋